糸魚川市駅北大火からの復興まちづくり 「にぎわい創出広場」活用提案募集に向けた官民対話

事 業 概 要

人口減少時代を迎え、これからの公共空間のあり方として、地元住民の参加による持続可能な広場運営を行う必要があると考えています。30年先も持続可能な広場を運営するために、「若者・子育て世代が集い、雇用が創出されるスキーム・仕組みづくり」をコンセプトに、新たに整備する広場を活用して、人が集まり、活動することで、まちの魅力が向上し好循環の流れをつくり出すことを想定しています。

特に、にぎわい創出広場施設を建設するにあたり、<u>管理・運営を含めた事業への参画可能性</u>に関してご意見をお聞きしたいと考えています。





- 1 にぎわい創出の方向性について
- 2 にぎわい創出広場の概要
- 3 スケジュール
- 4 官民対話の概要 参考資料

にぎわい創出の方向性について

位置づけ、施設の位置・概要

にぎわい創出の位置づけ

カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道 糸魚川

平成29年8月

復興まちづくり計画の策定

(H29-H33)

復興まちづくりの目標「カタイ絆で よみがえる。 笑顔の街道 糸魚川」を達成するための3つの 方針の1つとして

方針② にぎわいのあるまち

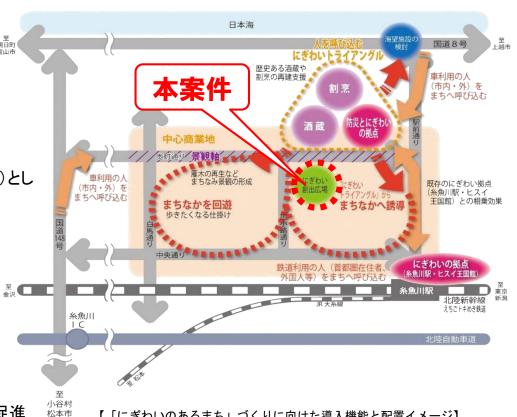
を掲げ、人々が集い憩う中心市街地(約17%)とし ての

にぎわいと活力を創出するため、 以下重点プロジェクトを推進する

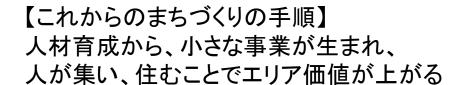
○防災とにぎわいの拠点施設の整備

〇にぎわい創出広場の整備

- ○海望施設の検討
- ○まちづくりを担う人材の育成
- 〇事業再建支援策の拡充とUIターン創業の促進
- 〇日本海と海の幸を生かした誘客の強化



【「にぎわいのあるまち」づくりに向けた導入機能と配置イメージ】



民間主体の 持続的な発展へ

> エリアの価値 が上がる

新しい産業 が生まれる

まちを訪れる人 まちに関わる人 が増える

まちに住む 人が増える

おもしろい まちになる

おもしろい人が 集まり始める

小さな事業 が生まれる

H30

H31 太案件

H33

まちに関わる おもしろい人が 育ち、集まる

データびと実践の場

1リノベーション まちづくり (人材育成)

小さなチャレンジから 小さな産業が起き 消費活動が生まれる

不動産価値の上昇

地域交流、チャレンジニー が生まれる場

> 2.にぎわい 創出広場

子どもやそれを取り 巻く人が集い 消費につながる

若者や子育て世代ニー が訪れる場

> 3.にぎわい 拠点施設

リノベーシェンまちづくり

H32

(案)

にぎわい創出のための相関図

(公共的機能による集客を周辺での活動や消費に波及)

カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道 糸魚川





リノベーションまちづくりによるエリア再生について

(持続可能なまちづくりを担う人材の育成に向けて)

カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道 糸魚川



課

題

- ・中心市街地における<u>空き家、空き店舗の増加</u>(駅北大火以前の課題が浮き彫り)
- ・駅北地区における<u>にぎわい活動の低迷</u>(活動を担う人材の不足)
- 復興する被災地(新しい)と周辺地域(古い)の<u>調和と連携</u>

方針

- ・地域ならではの資源(既存物件や大火復興で生まれた公共空間等)を利用した活動を創出
- ・活動の連鎖的つながりによる面的な地域価値の向上

学び

- ・リノベーションまちづくりシンポジウムによる機運の醸成
- リノベーションスクールによる事業化に向けた知識の習得





実践

- •空き家空き店舗を活用した新規事業者の増加
- ・まちづくりの担い手と訪問者の増加
- まちに活気が生まれ、エリア全体の価値が向上



20年近く空いていた物件をリノベーションした共場コモンズ【白馬通り】



空き店舗(旧パチンコ店)をカフェに改修【静岡県熱海市内】

プレーヤーが集まり、生まれる

にぎわい拠点施設【子育て支援分野】の整備について (30年先の糸魚川市を担う子どもたちの健やかな育成に向けて)

カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道 糸魚川



課

- ・若者や子育て世代の来街機会の減少(市街地の活力低下の一因)
- ▶・子ども一貫教育方針による切れ目のない子育て支援環境のさらなる充実

方針

- •若者や子育て世代が目的をもって街に訪れる機会を創出
- ・妊娠・出産から子育て時期をトータルサポートする子育てワンストップサービス機能を整備

安心

- ▶ 育児の相談
- ▶ 子育てのサポート
- ▶ 子どもの居場所



子育ての支援センター 一時預かり(保育室) 育児援助(ファミリーサポート) 手続きのワンストップ窓口

学習

- > 学習環境の提供
- > 中高生の居場所



学習室 図書スペース

遊びの場

- > 悪天、冬期における 外出機会の創出
- ▶ 親子ふれあいの場



屋内遊戯施設 絵本スペース 児童館スペース

交流

- 子ども同士、保護者同士の交流促進
- ▶ 講座、イベント開催に よる多世代交流



グループ活動室 フリースペース

まちを"訪れる"キッカケの場

にぎわい創出広場の整備について (多様な活動を通じて市民が憩い集まる場の創出に向けて)

カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道 糸魚川



課題

- ・大火前からの中心市街地における消費活動の低下(人口減少、郊外化、インターネットの普及)
- ・中心市街地における滞在者の減少(駅北大火により居住者、事業者の一部が郊外へ転出)

方針

- 消費活動を目的としない滞在者をまちに呼び込み、周囲の消費活動に展開
- 「地域交流」「チャレンジ」「防災意識啓発」を柱とした集いの場を創出

地域交流

- ・市民や地区の活動を支援 する相談機能
- まちづくりを担う人と人、団体をつなぐ地域のハブ機能



チャレンジ

- ・若者や女性の「やりたいこと」 の実現の場
- ・商店街での起業、創業につな げるチャレンジの場



防災意識啓発

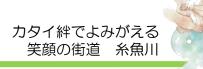
- ・大火の記録と伝承
- ・防災教育プログラムの展開
- 大火を切り口とした市の情報 発信(シティプロモーション)

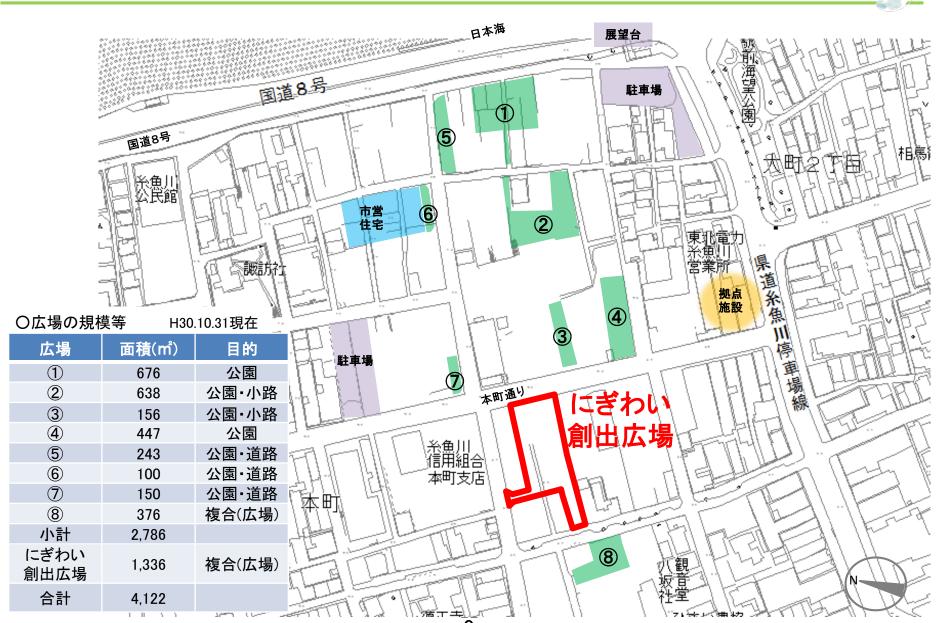


まちと"関わる"キッカケの場

にぎわい創出広場の 概要について

にぎわい創出広場等の位置







1:「回遊性」を高める広場

広場周辺にある、酒蔵や割烹と関連付けた、和の雰囲気がある広場を整備し、回遊性を高める広場として整備します。







小学校から海へ繋がる道周辺の広場は、防火性の高い 高木を植えた道のような広場を整備し、並木道のよう に設えます。また維持管理に関しては、沿道住民や小 学生と共に協力して行う仕組みを検討します。







火災の記憶を引き継ぎ、学ぶために手押し付きホンプがある井戸のある広場を整備します。隣地に計画中の「防災と賑わいの拠点施設」と一体的な利用を図り、学びつつ安全に遊べる広場を整備します。







3:キッチンとDIYスペースがある「にぎわい創出広場」 「欲しい暮らしは自分たちでつくる」ため、日常利用 を促すキッチン、DIYスペースがある上屋整備と一体 的に広場を整備し、街なかのにぎわい創出を図ります。

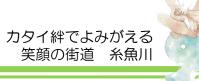




海望物级

日本海^

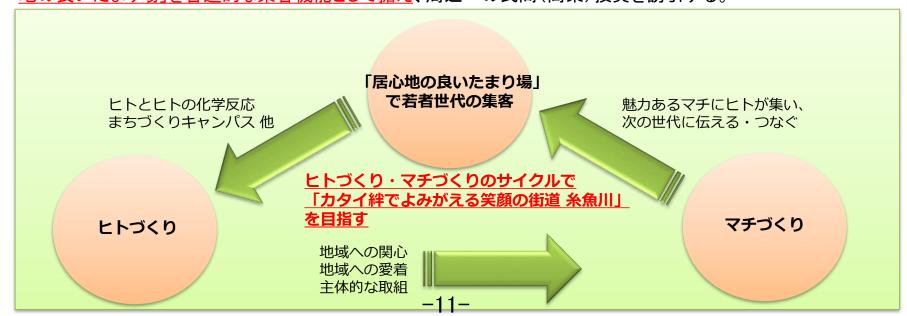
にぎわい創出広場のコンセプト(1)



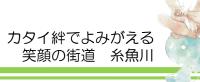
「若者・子育て世代が集いたくなる ヒトづくり マチづくりのたまり場」

からにぎわいと活力の創出

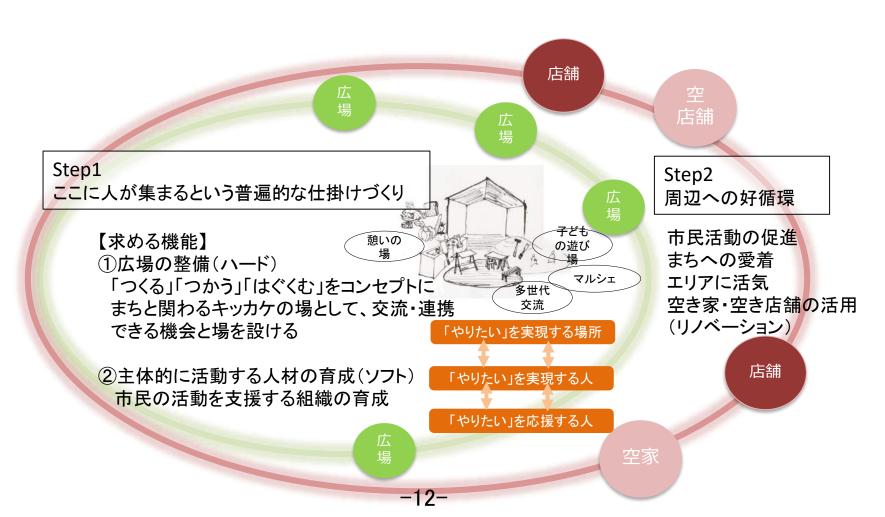
- ▼行政による「ハコモノ」への投資が限界を迎えている中で、30年先も持続可能な「マチづくり」を行うには<u>地域資源を最大限活用することが不可欠</u>。
- ▼<u>地域の若者世代が自らのマチに関心を持ち、主体的にマチづくりに取組むことが不可欠</u>。 「ヒトづくり」による「ヒト」を中心とした「マチづくり」を進める。
- ▼「商業」を集客機能の中心に据えるのではなく、未来のまちづくりを担う若者や子育て世代が集いたくなる「<u>居心</u> 地の良いたまり場」を普遍的な集客機能として据え、周辺への民間(商業)投資を誘引する。



にぎわい創出広場のコンセプト②

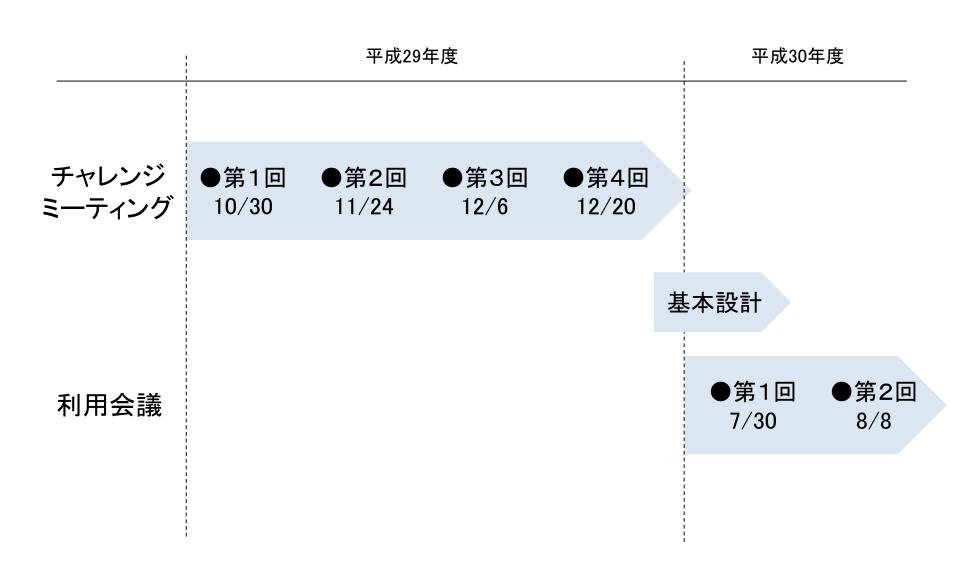


「居心地のよいたまり場」をつくることで持続的に市民が集まるキッカケをつくり、日常利用をキッカケとした**周辺への波及効果**を引き出し、まちの価値を上げていくことを目的として、市民の交流・連携の機会創出を促進する場として整備するもの。

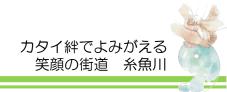


整備内容に関する話合い 経過





立 よっった 中



これからのまちづくりを担う若者たちを中心に、にぎわい創出広場 の活用方法と必要な整備内容に関する話合いを実施。(計4回)

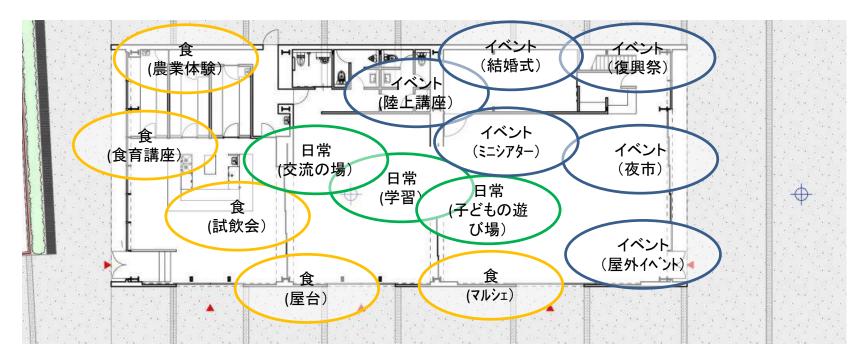
<u> 半风</u>	29年度									
第1	回(10月30日)	第2回(11月24日))	第3回(12月 6日)						
				第4回(12月20日)						
にぎ	わいをイメージする	にぎわいを実現させる)	必要な設備を整理し配置	※キーワード					
		イベントなどを考える)	図を完成させる						
市民	や観光客が楽し	音楽イベント	١.	電源、屋根、音響設備、	・イベント(楽しい)					
んで	いる	観光イベントなど		トイレ、芝生広場、ステー						
				ジ、照明						
活発	な経済活動が行	マルシェ(市場)		洗い場、トイレ、電源、イス、	食べる					
われ	ている	食のイベント 【		テーブル、屋根、テント、						
				屋台						
親子	² 連れや子供達、	憩いの空間		フラットな噴水、芝生広場						
高鮒	計者が日常を楽し	軽運動場		トイレ、屋根、駐輪所	・日常(憩う)					
んでいる		遊びの空間		遊具・子育て設備						
				清潔な環境設備						
多く	の市民や観光客	若者や観光客の憩いの場	5	テーブル、イス、屋根、	L+ +p / /+ > \					
が情	報収集などをし	⇒買い物客の休憩の場		トイレ、インターネット設	・情報(集う)					
てい	る		<u>/</u>	備、駐輪所、掲示板・看板						
	にぎわいを実現するため									
	15	ぎわいのイメージ		の行動						



【にぎわい創出広場利用会議】

にぎわい創出広場の利用を希望する方などの意見等を設計に反映させ、 供用後のにぎわいづくり活動をスムーズに始めれるように、8月に利用 会議を開催。(計2回) 利用のイメージ出しを行っている。

【活動の配置イメージ】



※活用アイデア詳細資料は、別紙参考資料

にぎわい創出広場の概要①

■整備の方針

市民との話合いの結果、多様な活動を通じて市民が憩い集まる場の創出に向けて、日常的な利用からイベントでの利用まで幅広く利用できるとともに、年間を通じて天候に左右されずに利用できる全天候型広場として整備することに決定。

■場の位置づけ

- ①地域交流の場 市民や地域の活動を支援、相談できる機能を設け、まちづくり活動を促進します。
- ②チャレンジの場 広場を利用して活動したいこと(利用会議での提案等)の実現や、創業につなげるチャレンジの場とします。
- ③防災意識啓発の場 大型防火水槽があることから、大火の記憶、記録を伝え、学習する場、大火を切り口 とした市の情報発信の場とします。

にぎわい創出広場の概要②

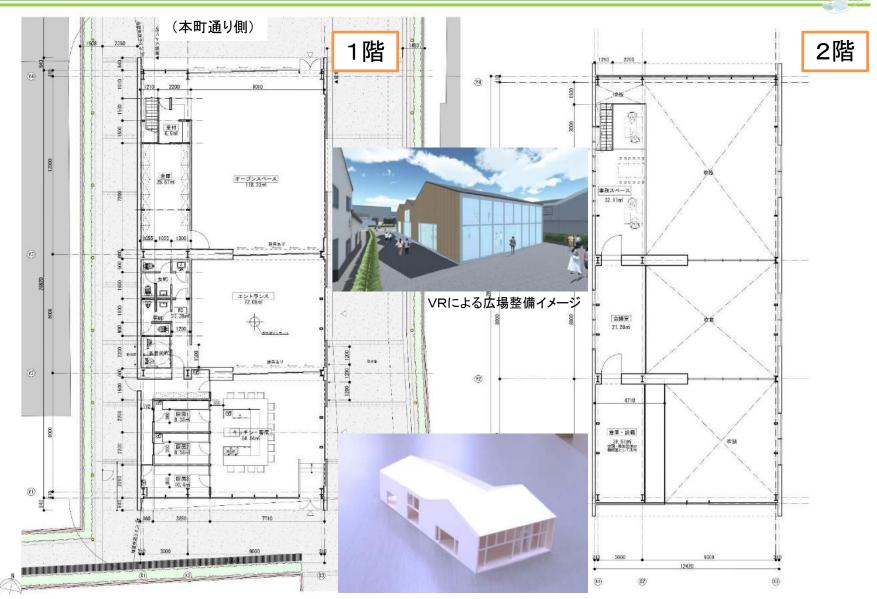


■機能、利用イメージ

- ①屋外スペース
- 屋外イベント
- ②屋内オープンスペース(自由度の高い屋内広場のような空間)
- ・市民や来訪者の休息、学生の集い、子どもたちが自由に遊べる場所など日常的な 滞在
- ・イベント、集会・講演会、ミニシアターなど様々な活動
- ・防災意識啓発と情報発信、一時避難場所
- ③キッチンスペース
- マルシェ等のセンターキッチン、
- 「食」を通じたチャレンジ(創業)
- ・日常的な憩いと地域交流

にぎわい創出広場 平面図、立面イメージ

カタイ絆でよみがえる 笑顔の街道 糸魚川

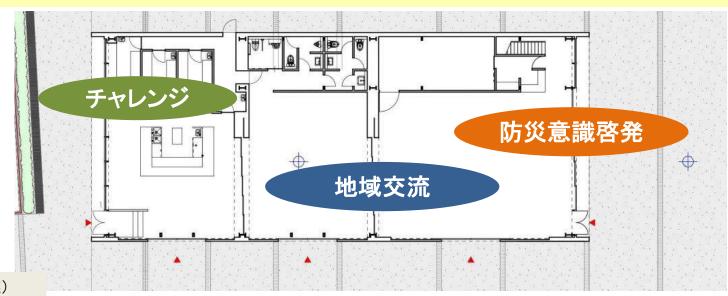


建物イメージ模型

施設管理(案)

- ○施設の使用許可及び利用料金の徴収に関すること。
- ○施設及び付帯施設の維持管理に関すること。

○施設の開設に係る準備に関すること。※当初のみ



施設運営(案)

○若者等の事業の企画、実施(支援)に関すること。

○キッチンの経営管理に関すること。

(例)

- ・若者団体(ワカチカ団体、PTA、保護者会ほか)との活動連携(1~3回/年)
- 飲食営業者の確保と地域開業の促進 (1事業者/年、1~3事業者/3年)

○地域交流事業(人材育成事業含む)の 企画、実施に関すること。

(例)

- ・地域団体の活動相談、支援、実施(6~12回/年)
- ・中山間地で活躍する団体等との活動の 企画と連携(1~3回/年)
- ・地域人材を育成し、ネットワーク化を図る活動の企画と実施(1~3回/年)

○防災(外部視察含む)事業の企画、実 施に関すること。

(例)

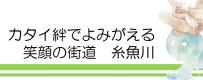
- ・防災関連事業との企画、連携、実施(1回/年)
- ・外部視察の受入(60件/年)
- ・復興情報発信ホームページの情報更新(3回/月)

本案件

- ◆にぎわい創出広場 平成31年12月下旬 供用開始予定 【設計段階】
- ◆その他広場(8箇所) 平成31年4月上旬 供用開始予定 【工事段階】
- ◆市営住宅1階 交流スペース 平成31年4月上旬 供用開始予定 【工事段階】
- ◆にぎわい拠点施設に子育て支援施設を計画予定 平成33年度 供用開始予定 【検討段階】

スケジュール

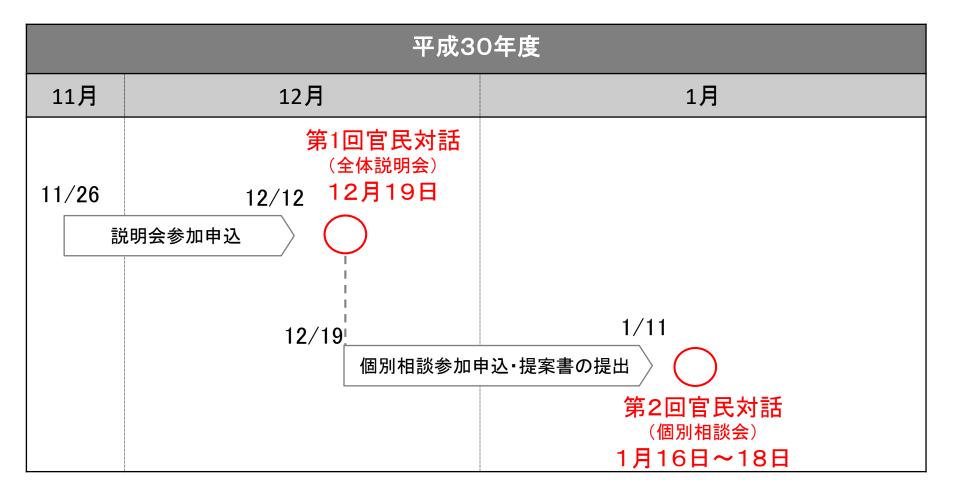
にぎわい創出広場整備の全体スケジュール



平成30年度					平成31年度											
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	官	色設計 ●2回目		仕様 □成	管理運		建定手続	†	工事 管理週	営者	準備其	月間)_	 	運営開始予定	(運営)	

官民対話のスケジュール





官民対話の概要

民間事業者、NPO等の皆様に、以下のようなことをお聞きし、来年度以降の管理運営者の選定等につなげていこうとするものです。

- ◆ にぎわい創出広場等の活用を促し、管理者の収益を確保するための事業 提案
- ◆管理・運営面での関心があるとすれば、どのような点ですか。 (どのような条件であれば、事業参画の可能性がありますか?事業範囲、事業方式、事業期間等。)
- ◆規制の緩和など行政に期待することはありますか。